

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年3月7日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690101862
法人名	社会福祉法人 天祐会
事業所名	ララシャンス七福神2F
所在地	鹿児島市城西1丁目1番5号 (電話) 099-206-2729
自己評価作成日	令和2年2月15日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和2年3月3日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

開設2年目の新しい事業所です。立地的に市街地が近く、近隣にスーパーや公園があります。建物は4階建てであり、2階、3階がグループホームの居住スペースで、1階は地域交流室となっており、NPO法人オレンジハート(社会貢献活動の実施、認知症カフェの開設と運営)とコラボにて地域との交流を図る環境を整えております。4階は、認知症対応型デイサービスがあります。心を込めた5つのケアをスローガンに心身機能活性運動療法(認知症改善プログラム)、アニマルセラピー、アロマセラピー、家庭的ケア、薬膳メニューを実施しております。企業理念の「その人らしい命の尊重」をご家族と一緒に見つけ出し、その方の「できたらいいなあ」を実現できる取り組みを積極的に行い、事例発表会を行っております。職員人材に力を入れ、様々な研修会を開催し、自分たちのスキルアップを図っています。介護における接遇とは何か、思いやりを伝えるご入居者様との絆作りに力を入れるためのヒューマンスキルの向上を目指しています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

鹿児島市の市街地に位置し、近隣にはスーパーや多くの商店、高校、公園等があり、認知サービスが併設されている。町内会に加入して総会や清掃活動、夏祭り、校区の文化祭などへ参加している。地域向けのセミナー開催や相談への対応、オレンジテラスでは認知症講座や調理教室なども開いて地域の人々と積極的に交流している。また、災害時には施設を地域の住民に提供することも発信している。日常業務では理念やビジョンに沿って利用者の「できたらいいなあ」の思いを大切にして日々のケアに取り組み、家族や利用者の安心につながっている。ホームや個人の具体的な年度目標を設定し、月ごと、また、半期や年度末に事例発表会や個別面談も実施して達成度を評価して、より良い仕組みづくりに取り組んでいる。法人内の研修も年間計画に沿って積極的に実施されており、管理者自らも認知症ケアや言葉による身体拘束の防止など、ミーティングや事例発表会、日常のケアの場も活用して職員の育成に取り組み、より良いケアの実現に職員と一体となって取り組んでいる。利用者が家庭的に気持ちよく過ごせるか、可能な限り自立して楽しく生活できるかに管理者及び職員の関心が払われ、「できたらいいなあ」の思いの実現に重点を置いている。家族の意向にも配慮し、地域や家族とのふれあい、趣味の支援なども含めて、24時間シートを活用して利用者の言葉やしぐさ・行動に注意を払い、その時々その本人の状態や気持ちに沿った言葉かけや対応で支援に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義を踏まえ、法人全体の事業理念、ビジョンに基づき、サービス提供を行い評価として、事例発表会を開催している。	理念及びビジョンに沿って、ホームや職員個々の目標も設定して、利用者のその時々を大切に、個々のペースでその人らしく過ごせるように支援している。理念は昼礼時の唱和や日々のケア、研修時の事例発表、目標達成度確認などで振り返り、意義の理解を深めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	町内会に加入しており、回覧板が回ってくる。地域の行事に参加したり、いつでも、どなたでも気軽に立ち寄れるよう、オレンジテラスを常設している。	町内会に加入し案内される総会や清掃、夏祭り、校区の文化祭、小学校のバザーなどに参加している。サマーボランティアや高校生の実習生受入れのほか、地域の方々の相談への対応、地域向けのセミナーの開催、認知症講座や料理教室等のオレンジテラスでの交流など、地域の方々と親しく接している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議にて、地域の方の認知症の相談などに対してお答えしたり、また、事業所の取り組みをお伝えしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現状報告をし、テーマを設け意見を頂き、サービス向上に活かせるようにしている。	会議は家族や地域住民、民生委員、地域あんしんセンターの職員等が参加して定期的開催されている。ホームや利用者の現況や行事・事故等の報告、毎回設定しているテーマや地域情報等に関して意見や情報交換が行われ、得られた助言や提案を職員が共有して、提供するサービス向上や業務改善に役立てている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域の長寿あんしんセンターとの交流を図り、情報交換を行っている。	介護相談員の受入れのほか、地域あんしんセンター担当者には運営推進会議で多くの意見や提案をもらっている。市担当者とは電話や訪問で利用者の暮らしぶりやニーズ、各種の相談に助言・対応してもらっている。研修会や交流会等にも出席して意見や情報の交換も行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	代表及び全職員が禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解できるよう、研修に参加したり、身体拘束に対しての職員意識アンケートを行うなどして身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	年間の研修計画に沿って高齢者の権利擁護や虐待防止、身体拘束に関する勉強会を実施して、具体例も基に職員の理解を深めている。特に言葉による行動制限や気持ちの押さえつけがないように、日々のケアや職員アンケート、定期的な身体拘束廃止委員会、委員による見回りでも具体的な事例も交えて繰り返し確認している。利用者が外出しそうな場合は職員と一緒に出かけるなど、その時々に合わせて対応している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待について法人全体の研修会に参加し、職員が意識を持てるようにしている。また、現場でも見過ごす事がないよう注意を払っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する研修を法人全体で開催し、理解を深めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約に関して重要事項説明書を基に誤解などが生じないように丁寧に説明するように心がけ、不明な点はないか確認するようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置し、また、面会時に何かご要望などないか、声掛けするように努めている。また、行政機関などの相談窓口を紹介している。	利用者には日々の暮らしを通じて頻繁に声掛けして思いや意見を聞きだす努力をしている。家族とは電話や来所時、運営推進会議、家族会の際に、積極的に声かけもしながら話しやすい雰囲気作りに努めて多くの意見を得ている。申し送りやミーティング、業務日誌等で共有して対応を話し合い、面会時の対話や電話、ホーム便りで家族にも報告し、サービスへの具体的な反映に努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者に直接意見など言うことができるシステムがある。定期的に管理者は面談をしている。毎月現場での気づきや提案を書面に提出する仕組みがあり、ユニットミーティング時検討している。	職員が代表者と意見交換する仕組みもあり、管理者はミーティングや毎月の職員気づきシートのほか、日常接する中で意見や気づき、提案を把握できるように努め、定期的に個別面談も実施している。また、研修やキャリアプランも活用して、サービス向上や業務改善、職員育成などに反映できるよう取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアプランを作成し、個々の目標を決めそれに対し毎月PDCAを回し達成できるように支援している。給料などについても個々の等級があり昇給して行けるシステムがある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人で研修の年間計画をし、単位制にしている。また、資格取得を力量や意欲に合わせて勧めを行ったり、勤務調整をしたりしてスキルアップできるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内の異なる事業所と委員会活動や地域貢献事業を行っている。また、他の法人、事業所との地域交流会に参加し情報交換を行いサービスの向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	小さな不安などにも、一緒に会話を通してコミュニケーションを笑いでとり、丁寧な声掛けを行うようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が面会にいらしているときは、声をかけていただきやすい様に、挨拶をして、こちらから話しかけるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今までの生活を継続できるようにご本人・ご家族の状態や意向に沿って、訪問歯科、介護福祉用具から助言をいただくなど他のサービス利用も考慮している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人のADLに合わせ、洗濯物たみなど一緒に行うようにし、できる喜びを一緒に味わっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人が興味を持ったこと等を伝え本人を交えてご家族と一緒に会話などをするようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの方の訪問を自由に行っている。なじみの場所などご家族の協力をもらい出かけたりして、関係が途切れないようにしている。	電話や手紙の取り次ぎのほか、家族や利用者の友人・知人の訪問の際には、ゆったりと過ごせるように配慮している。利用者が希望する散歩や買い物、外食のほか、家族との談話、掃除や洗濯物たたみ、趣味など支援している。また、家族の協力の基での一時帰宅や墓参り・美容院・外食等も可能な限り支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご入居者様の相性や性格、状態を考慮して常に職員が気配りしている。他ユニットとの交流を行事などを通して図っている。なじみの方がいらっしゃったら、個別に談話ができる環境を提供している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了時、メッセージカードや色紙を送っている。看取りをさせていただき他利用者様に一周忌にお花やお手紙を送っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご入居者様の今まで過ごされてきた生活を把握し、思いや意向を聞き、ご家族からも情報を聞いてご本人のこだわりを大切にしている。	利用者とは家族からの情報や24時間シートのほか、日々のケアや入浴時の対話から思いや希望、こだわりをくみ取ってミーティング等で対応について意見を交換している。加えて家族とも話し合いながら職員は内容を共有して、具体的に本人の希望に添うように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	普段の会話からこれまでの人生の話の聞いて、いろいろな情報を把握するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	24時間シートを使用し支援が必要な事やこだわりなど把握できるように見守りし、現状把握できるようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	プラン作成に当たって計画作成担当者が個人記録を参照したり、担当職員に状況確認をしたり、ユニットミーティング時にご入居者様個別に状態や対応を話し合い、介護計画書を作成している。	利用者や家族の思いや意見のほか、主治医や看護師の意見も加えて、主にユニットミーティングで個々の利用者の状態や支援状況について話し合い、職員の意見や気づきも反映したわかりやすい介護計画を作成している。日々の様子や変化などは24時間シートをはじめ業務日誌や介護記録に記述し、定期的なモニタリングやカンファレンスで話し合い、計画の見直しや修正を適切に行っている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録、日誌に記録を残している。夕礼を開催しその日振り返りを出勤者で行い、情報の共有を図りながら、介護計画の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	基本的な個別業務に対しての一日の流れがあり、買い物や散歩などその時のニーズを優先し柔軟な対応を行っている。訪問診療、歯科往診、訪問マッサージを導入している。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を文えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所のスーパーへ買い物へ行き、自分で買い物ができる支援をしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の希望に沿ってかかりつけ医を決めている。訪問診療の往診を受けている方が多く、24時間急変に関してもすぐ対応できる環境を気づいている。	利用前の受診の経過把握に基づき、本人・家族が希望するかかりつけ医の訪問診療を支援している。歯科の往診や訪問マッサージの利用、また、専門医受診も家族とも連携して対応している。ホームの看護師及び訪問看護師で日常の健康管理に努め、協力医療機関により緊急時にも適切な医療が受けられる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が正職で勤務しており、ご入居様の変化をすぐ相談できる仕組みを取っている。また、必要時は訪問看護を取り入れ、個別に適切な看護を受け入れられるように体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	主治医の指示に従い、ご家族の意向をお聞きし主治医との連携を図っている。入院に際しては適宜病院より情報を採取し、ご家族・主治医へと情報共有し早期退院へ向けて努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化したり、終末期に向けての話は適宜行う。事業所の未取り関しての指針を説明している。その時々でご家族に終末期の状況を説明しながら、意向を確認し、関係者と協力をしている。	重度化や終末期のケアについては、「重度化対応に関する指針」で契約時に利用者と家族に十分に説明を行い同意を得ている。利用者の段階や様々な変化に応じて職員やかかりつけ医、看護師、家族と繰り返し話し合い、看取りのほか、病院や他の施設などへの移動も含めて、ホームとして適切な支援が提供できるように努めている。なお、職員のスキルアップのために、マニュアルの整備や看取りに関する勉強会を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員が普通救命講習を受け終了証を持っている、法人内で講師がおり、新入職者は直近の講習を受けることになっている。緊急時の対応の研修も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>全職員緊急時の災害対応の訓練を年2回年間スケジュールに組み込んで実施している。</p> <p>日頃より、地域参画を行っており、情報共有を図り、協力体制の関係づくりに努めている。</p>	<p>年2回消防署の協力のもと火災を想定した避難訓練を、併設の認知デイサービスと実施している。スプリンクラーや自動通報装置等の設置をはじめ、食料・飲料水の備蓄、カセットコンロやおむつ等も備えられ、関連する救命講習や研修も実施している。また、地域の人々の協力が得られるように必要な情報提供や呼びかけも行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーについての研修をしている。具体的な例を挙げ、職員に意識できる取り組みをしている。言葉かけに関しても尊厳ある言葉を意識し、その場でフィードバックできるようにしている。	接遇やプライバシー保護等に関する研修の充実を図り、利用者の尊厳やプライドを損ねるような言葉かけや対応の防止に努めている。居室への入室や排泄・入浴・食事等の支援、各種記録の取り扱いなどは、24時間シートも活用して利用者個々のその時々状態や気持ちに合わせた声かけや対応を心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご入居者様の状態に合わせた声掛けを行い、希望を聞いたり、自己決定できるように、選択肢できる言葉かけを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	『その人らしい暮らしの尊重』を理念に掲げ、職員一人一人が意識し、フィードバックできるように努め、チームとして柔軟に支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節やTPOを考慮し、提案しながら、お好みや気分に合わせてその人らしい身だしなみのお手伝いができるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	薬膳メニューを取り入れている。行事食であったり、し好品を取り入れ、個別に準備から片付けまでを食事の楽しみ、興味につなげられる支援をしている。	利用者の好みやおいしさ、彩りに配慮した薬膳メニューで、合わせてとろみやきざみ食等の工夫を行っている。盛り付けや食卓の準備・後片づけ等利用者のできることも一緒に行っている。季節の行事食や誕生会等の特別食、外食、お茶会、手作りおやつ、住民との料理教室等も計画して利用者の楽しみにつなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事摂取量、水分量をチェックを行い、状態に応じて必要性を補う対応をしている。好みの飲み物、食べ物を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行っている。自分でできる方に対しては仕上げ、確認を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排尿パターンを把握し適切にトイレ誘導を行っている。介護の思い方でも日中はトイレに座ってもらう、排泄時間の記録を取り、適宜案内する支援を支援をしている。	利用者の見守りや排泄チェック表を適切に活用し、利用者個々のパターンを把握して、早めの誘導や声掛けを工夫しながら可能な限りトイレで排泄できるように支援している。夜間も含めて個々に合わせた排泄用品の使い分けや皮膚トラブル対応などもプランに反映し、支援の際には羞恥心や不安の軽減に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄状況を記録し、定期的なトイレの案内、腸部マッサージをしたり、食事でも便秘の改善効果のある献立を立てたり、オリゴ糖など使い、水分摂取するなど支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的な入浴のスケジュールはあるが、入居者の状態、状況の変化により対応し、入浴できないときは、清拭や更衣するなどし、清潔に保っている。	利用者の安全面や皮膚ケアも含めた健康状態に十分配慮して、曜日や時間帯、また、清拭やシャワー浴への変更など柔軟に対応し、ゆったりと会話しながら入浴を楽しめるよう支援している。入浴をためらう場合にはタイミングの良い声かけなど利用者本位の支援を心掛けている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	テレビを見たり、休息できる時間を作りその方の寝たいときに眠って頂けるように努めている。良眠できるように昼間活動したり、アロマを焚いたり、居室の環境（証明、室温）を個別に考慮している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬手帳や薬情をファイルにしておき、職員が内容を把握できる状態にしている。薬変更時には記録に残し、情報共有し状態観察できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人の会話の中から「したいこと」「思ったこと」「できたらいいな」と思っていることの情報把握を行い、スタッフ間で共有している。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個別に対応している。季節の行事やご本人様が行きたい場所に出かけている。またご家族にも協力していただいている。	利用者の健康状態や天候を見ながら、日常的には本人の希望に沿って近隣の散歩や買い物などに出かけている。また、夏祭りをはじめ地域の行事や季節の花見、水族館や外食など本人が行きたいところに個別で出かけ、年間計画で企画してある外出についても声かけして誘うなど、可能な限り楽しく外出できるように工夫・支援している。家族の援助のもとで食事や外泊、墓参りなども勧めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の管理は施設で行っている。希望時にスタッフと一緒に買い物に出かける支援を行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族からの電話などはいつでも取次している。また、携帯電話を所持している方には使い方を随時支援している。年賀状をご家族宛てに出すように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングにはゆっくりくつろげるようにソファを置いている。また、音楽を流したり、季節の歌をかけるなど、癒せるスペース作りに心がけている。</p>	<p>リビングや廊下はゆったりとして明るく、室温や湿度、換気調節、清潔感にも十分に配慮されている。加湿器や大きめのソファ、テーブルなどが配置され、利用者それぞれが好みの場所でゆっくりとくつろげるようになっている。季節に応じた生花や手作りの作品が置かれ、行事の写真等も掲示されている。静かな音楽も流れており気持ちよく過ごせる環境である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>自由に居場所が作れるように、その時々でソファに座って頂いたり、テーブルセッティングしたり工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの家具の持ち込みやご本人が居心地が良いと思える居室を自由に作っていただけるようご家族にお伝えし、安全を配慮した居室づくりをしている。</p>	<p>落ち着いて、安全に居心地よく過ごせる居室になるように、家族とも協力しながら環境づくりを工夫している。利用者が使い慣れたテレビや写真・タンス等の家具、小物等が持ち込まれ、ホームからはエアコンや電動ベッド、カーテンが備え付けられている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ご本人ができる事、分かることをアセスメントし、その行為が安全に自立した生活が送れるように環境を整えている。 (表札、トイレ表示、ドアの開け方の表示、本人の目印など)</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない